

## 河床掘削はICT施工以外考えられない！

万全なサポート体制が決め手！  
初のICT施工での感動を再び

## ■■ 現場詳細 ■■

静岡県下田市

令和元年度二級河川稲生沢川総合防災事業（河床掘削工）川底に滞積した土砂を取り除く工事。

【施工範囲】 880m<sup>2</sup>【施工土量】 切土1,000m<sup>3</sup>

【ソリューション】 3D測量

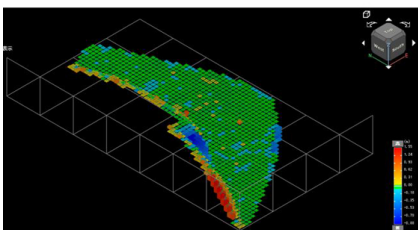
スマートコンストラクションアプリ

## ■■ 導入経緯 ■■

(有)向田興業

代表取締役 向田典義さん

前回、初めてのICT施工としてスマートコンストラクションで河床掘削工事を行いました。起工測量から出来形管理資料作成まで全てに対応でき、機械の不調があれば遠隔で機械へ入ってもらいすぐに対応してくれて、サポート体制が大変良く、スマートコンストラクションの素晴らしさを実感しました。今回の現場でも迷わずスマートコンストラクションを導入して施工をしようと思いました。



代表取締役 向田 典義さん

静岡県  
(有)向田興業 様

創業 平成元年度

下田市にて道路・河川・建築基礎工事

などを行っています。

地域の皆様を大切に、

これからも伊豆地区の

発展に貢献していきます。

掲載月:2020年3月

まだまだ広がっていく  
ICT建機の活躍の場所

## ■■ 導入効果 ■■

(有)向田興業

代表取締役 向田典義さん

今回で2回目のICT施工での河床掘削工事でしたが、丁張がいらず出来形管理が施工履歴データでできることで、手直しが発生しない為、迅速に工事が進みました。従来施工にはない、施工前の不慣れなデータ変換の工程がありましたが、施工が始まってしまえば、ICT建機のマシンコントロール機能により断然ICT施工の方が楽にできました。今後、河床掘削工事においてICT施工以外は考えられないです。

当社は建築基礎工事も行いますが、伊豆という土地柄、設計に段差を必要とし複雑な形状になる場合があります。今回の現場でICT建機を使い、建機内のモニタでデータを設定するだけで何度も行う丁張設置や高さの確認が不要になったので、建築基礎工事にも活用できると思いました。ICT建機の活躍の場はまだまだこれから広がっていくのではないかと思います。

